

2「よりよい授業を目指して」(教員用リーフレット) 富山県教育委員会 平成26年3月
(第4章 1「授業の創造」に関連)

授業を構想する

- 1 単元(題材)の目標(ねらい)や児童生徒の実態を踏まえて、身に付けさせたい力を明確にする
- 2 目標を達成するために、教材研究を行う
- 3 単元(題材)を通した指導計画・評価計画を立てる
 - ・指導内容や指導方法等の検討を行う
 - ・指導計画のもと、授業の学習活動や発問等を考える



導入

1 学習課題を確認させる 2 学習の見通しをもたせる

- 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を明示
- 学習課題の確実な意識化



ここがポイント！【学習課題の設定】

- ・興味・関心を高める
「やってみたい」「考えてみたい」(必要感)
- ・既習事項とのずれを生じさせる
「あれっ？」(驚き・不思議さ)
- ・明快に分かりやすく提示する



ここがポイント！【学習課題の意識化】

- ・何をどのように学ぶか見通しをもたせる
- ・具体物や映像、音声等を活用する
※ICT機器の活用
- ・日常生活と結び付ける
- ・矛盾や疑問が生じる発問で揺さぶる

Check

▼学習課題を板書するだけで終わっていませんか？

▼構造化した板書例

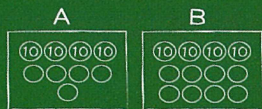
問題 うさぎ小屋AとBでは、どちらが
こんでいるでしょう。

	面積(m ²)	数(ひき)
うさぎ小屋A	6	9
うさぎ小屋B	5	8

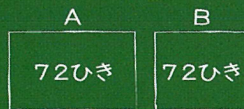
学習課題 面積も数も違ううさぎ小屋のこみぐあいの比べ方を考えよう

思考の
過程

◆面積を30m²にそろえる
A $30 \div 6 = 5$
 $9 \times 5 = 45$ (ひき)
B $30 \div 5 = 6$
 $8 \times 6 = 48$ (ひき)



◆数を72ひきにそろえる
A $72 \div 9 = 8$
 $6 \times 8 = 48$ (m²)
B $72 \div 8 = 9$
 $5 \times 9 = 45$ (m²)



まとめ

面積または数を
そろえると比べ
ることができる。

考え

同じ面積では、数の多い
方がこんでいる。

同じうさぎの数では、面積
のせまい方がこんでいる。

児童生徒の思考の軌跡が分かる板書に

単元(本時)の活動内容及び留意点

展開

3 自分の考えをもたせる

- 学習内容や活動の方法、手順などの確認
- 体験的な活動から疑問・発見を引き出し、課題意識を高める授業展開の工夫
- 具体物の提示
- 考えを論理的にまとめるノート指導やワークシートの工夫



ここがポイント！
【ノート指導】

- ・自分の考えの軌跡、成長の記録となるようにする
- ・図や記号等も活用して、考えや調べたこと、感想等を分かりやすく整理させる
- ・記述された内容から考えのよさや努力を捉え、朱書きで励ましの言葉や助言を添える

4 自分の考えを深めさせる

- 関わり合いを生む発問の工夫
- 人間関係を大切にしたい話合いの約束づくり
- 目的に応じた学習形態の工夫（全体・グループ・ペア等）



ここがポイント！
【発問】

- ・言葉を精選し、簡潔に平易な言葉で問う
- ・方向性や意味が明確な問いにする
- ・一人一人の思考に深まりや広がりが見られるような問いにする



ここがポイント！
【話合い】

- ・話し合う目的や見通しをもたせる
- ・児童生徒の考えの共通点や相違点等を整理する
- ・話合いを広げたり深めたりするための手がかりを示す

Check

- ▼児童生徒の書いたり、考えたりする時間を奪っていませんか？（説明し過ぎる）
- ▼ペアやグループにただで満足していませんか？
- ▼話合いのねらいは明確ですか？

まとめ

5 学習したことを振り返らせる

- 振り返りの場の計画的な設定
- 目標の達成状況の確認
- 次時への課題の意識化



ここがポイント！【まとめ】

- ・作問をさせたり、類似問題等に取り組ませたりする
- ・「分かったこと」「できたこと」「友達から学んだこと」を自分の言葉で書かせる
- ・達成状況を踏まえ、個別指導、補充指導等を行う

Check

- ▼導入・展開に時間をかけ過ぎて、振り返りの時間が十分に取れないことはありませんか？
- ▼「おもしろかった」「楽しかった」等の感想だけで終わっていませんか？

「見通し」と「振り返り」

各教科等の指導に当たっては、児童（生徒）が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫すること（学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」）